



TOCHIGI



栃木県 小山市消防本部
消防長 宇賀 静男

水と緑と豊かな大地・開運のまち“おやま”

小山市は、栃木県南部に位置し、首都圏からは北に約60km、市の中央には母なる川「思川」が、東には鬼怒川が南流し、西南部にはラムサール条約の潜在候補地である渡良瀬遊水地が広がるなど「水と緑と大地」の美しく豊かな自然と、琵琶塚・摩利支天塚古墳等7つの国指定史跡を代表に数多くの歴史的・文化的遺産を有し、農業・工業・商業の調和のとれたまちとして発展しています。また、慶長5年（1600年）7月25日、徳川家康ほか武将による軍議が当地で開かれ、東軍として反転西上、



「思川」と市街地

関ヶ原の戦いで東軍の結束と江戸幕府成立に道筋をつけた「小山評定」の史実でも有名な「開運のまち」です。

安全・安心都市“おやま”を目指して

当市の消防体制は、1本部（4課）・1消防署・5分署の組織体制であり、193名の職員と641名（うち、女性8名）の消防団員が一丸となって、安全・安心な市民生活の確保のため、消防防災の任務を遂行しています。

平成24年3月より新消防本部庁舎建設に着手し、災害発生時における速やかな消火・救急・救助活動の体制強化、予防行政の充実、地域で支えあう自主防災体制の強化を図り、総合的防災体制の充実を担う中核としての消防施設を基本方針として建築しています。最大の特色は、防災拠点施設としての機能を備えつつ、市民の誰もが使いやすくなるため、ユニバーサルデザイン化を進め、相談スペース、展示スペースや防災講習会等を開催する

集会施設を設置するなど、市民が親しみやすく、誰もが使いやすい市民に開かれた施設であるということにあります。



新消防庁舎完成予想図

開庁は、平成25年9月を予定しています。

当市では、消防防災力を支える人材の確保を目指して、幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性消防クラブ、自主防災会に対し活動支援や訓練協力などを行っています。

消防防災人材力アップ“おやま”を目指して

また本年度からは、将来の消防職・団員・自主防災組織等地域防災の担い手を確保すべく「未来の消防防災リーダー養成事業」として中学生、高校生を対象とした「小山市中高生消防サポーターズクラブ」を創設しました。今後、各種研修等を通じて防火防災の知識や技能を身に着けた中学生、高校生の皆さんの力が、地域の災害対応力の強化や防火防災の普及啓発につながり、消防防災人材力のアップに期待されています。



募集ポスター

今後「ふるさと」小山市の安全・安心のため、消防職団員一丸となって自己研鑽に励み、市民サービスの充実と地域防災力の向上に努力していきます。